

令和元年度職業能力開発論文コンクール「受賞者の声」

受賞者：特別賞（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 理事長賞）
高木 啓太 氏

所属：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
国立職業リハビリテーションセンター

テーマ：障害者に対する職業能力開発

論文名：知的障害を伴う発達障害者への施設内訓練における適応支援



受賞者からのメッセージ

このたびは栄誉ある賞を賜り、心よりお礼申し上げます。

本論文は、知的障害を伴う発達障害者に対する施設内訓練における適応支援についてこれまで広域障害者職業センター（広域障害者職業能力開発校）で取り組んで培ってきたノウハウや事例をまとめたものです。

適応支援は、就職し、働き続けるための知識や技能を習得することを目的に実施し、自分自身の障害特性（得意・不得意など）を理解し、自分に合った働き方を見つけること、自分の課題に合った対処法を習得し、実践していきます。

職業訓練校においては、職業訓練により職業上のスキルを向上させること（ハードスキルの力の向上）が中心になりますが、職業訓練を安定して受講するためにも職業訓練修了後に就職した事業所に長く職場定着するためにも、適応支援の取組みが欠かせないと私は考えます。仕事そのものの能力だけでなく、基礎的な労働習慣や職場でのコミュニケーション、自己理解などのソフトスキルの力の向上も長く働くために重要になります。

近年、障害者校でない職業訓練校においても、知的障害を伴う発達障害者への対応について特に適応支援のノウハウを知りたいという声を耳にします。現場で日々奮闘されている方々に対して、本論文にあるような取組みが参考になることができれば嬉しく思います。そのため、日頃障害者への職業訓練に携わっていない方が読んでも分かりやすい論文を心がけて書きました。

適応支援の取組みは数値化・定量化が難しく、途中の過程では効果が見えづらいことや試行錯誤が必要になることも多いですが、今後もよりよい支援のあり方を模索しながら、誠心誠意取り組んでまいりたいと思います。